



みはらのたぐい

三原で輝く若者たち

「弓道は練習した分、的中するわけではないので、『弓道が好き、楽しい』という気持ちが大切」と話す部長の柳原さん。週1回リージョンプラザの弓道場で一般利用者と練習をしています。「弓道場での世代を超えた交流や、学部・大学を超えたつながりも部活の魅力です」と、中川さん。

指導者にも恵まれ、大会で結果が残せるように。団体戦で3番手を務める吉田さんは「緊張しますが、最後の1本を引くために気持ちを落ち着かせるすべが身に付きました」と言います。生涯スポーツである弓道を続けることが3人の目標です。

祭りで伝える
弓道の楽しさ



やっさ祭りの「浴衣で弓道」に参加するなど、学生らしくのびのびと弓道を楽しむ。

第58回中国学生弓道競技大会女子団体優勝

県立広島大学 弓道部

「弓道を続けたい」という学生の声で生まれた弓道部。未経験者や高校からの経験者など12人が所属。



上から柳原さん、吉田さん、中川さん



サークルとして発足し、部になってから3年。個人や団体戦で優秀な成績を収めている。

